

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 1年 A～H組
教科書	書 I (東京書籍)	副教材等	なし

1 学習の到達目標

・小・中学校国語科書写の学習を基礎としながら、書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てる。  
 ・書の実しさを感じ取る鑑賞の基礎的な能力を伸ばすとともに、書の伝統と文化について理解を深める。  
 ・書に親しむ活動を通して、感性を高め、書写能力の向上を図り、自己を主体的に表現するための書道の基礎的な能力を伸ばす。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	書の導入	1 書道の学習	・書写と書道の共通性と相違を理解し、書の世界を知る。	観察 (関)
	5		2 姿勢・執筆法	・姿勢や執筆法の基本を理解する。	ワークシート (関) 試書 (構工)
			3 書の用具・用材と表現	・用具・用材の種類や性能を学ぶ。	観察 (関)
4 硬筆の学習 (年間を通して)			・漢字と仮名の調和と硬筆の基本について理解する。	硬筆ノート (構工・技) 作品 (技)	
第1学期	6	楷書の学習	1 楷書の成立と変遷	・各古典の鑑賞を通して成立と変遷を知る。	発表 (関) ワークシート (鑑)
	7		2 鑑賞と臨書  唐の四大家	・代表的な楷書古典を鑑賞し基本的な点画や線質の表し方と用筆・運筆の関係を臨書学習により習得する。  ・初唐家の四大家を中心とした臨書を通して書の多様な表現の可能性に触れる。	試書 (構工) 作品 (技)  制作シート (構工) 発表 (関) 小テスト (関) 鑑賞シート (鑑) 観察 (鑑)
			7	3 創作 (楷書)	・古典作品の臨書で学んだことを生かして半紙大の創作作品を制作する。
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	行書の学習	1 行書の成立と変遷	・行書の特徴について理解を深める。	発表 (関)  鑑賞シート (鑑)
	10		2 行書の特徴	・各古典の違いを理解し、その特徴を時代と人物を通して鑑賞する。	発表 (関)  鑑賞シート (鑑)

第2学期	11		3 鑑賞と臨書 王羲之の書法を中心として	・各古典の代表的な行書を鑑賞し、臨書学習により特徴を把握する。 ・王羲之の書法を中心に三筆・顔真卿について学ぶ。	制作シート（構工） 観察（関） 試書（構工） 作品（技）
	12		4 創作（楷書・行書）	・自分の意図する表現になるよう創意工夫を図り、創作作品を制作する。	ワークシート（構工） 観察（関） 作品（技） 鑑賞シート（鑑） 小テスト（関）
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	仮名の書の学習	1 仮名の成立と変遷	・仮名の成立と変遷、種類について学ぶ。	観察（関）
	2		2 基本的な筆使い	・仮名の書独特の筆づかいや基本用筆を習得する。	試書（構工） 作品（技）
			3 単体・連綿体・変体仮名	・平仮名を中心とした上代様仮名の筆使いに慣れ、用筆や連綿などの仮名の書の基礎を作る。	ワークシート（関） 鑑賞シート（鑑） 作品（技）
	3		4 古筆臨書	・古筆臨書により仮名美に触れる。	観察（鑑） 試書（構工） 作品（技） 観察（鑑） 小テスト（関）

### 3 評価の観点

知識・技能	書の表現の方法や形式、書表現の多様性について、書の創造的活動を通して理解を深めている。 書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身に付け、表している。
思考・判断・表現	書のよさや美しさを甘受し、意図的に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい深く捉えたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	書の伝統と文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。

### 4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から総合的に評価する。
---

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

外面的にも内面的にも姿勢を正すこと。用具、用材を大切にすること。準備、後片づけを迅速かつ丁寧に行うことを守ってください。
--